

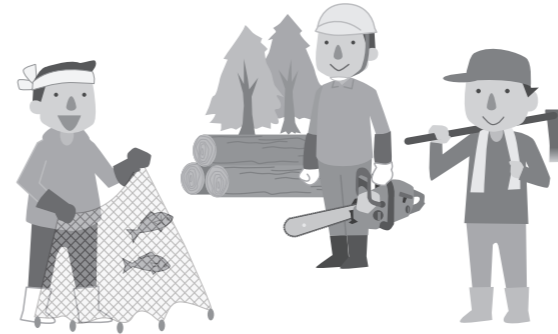
平成29年度の 主な取り組みを紹介し ます！

平成29年度の市の主な取り組みはどのようなものがあるのでしょうか。そこで、新規事業をはじめ私たちのくらしに身近な事業などを、7つの部門ごとに設けた政策方針とともに紹介します。（金額は予算額で、表示単位未満を四捨五入しています）。



1 創造性豊かな産業のまちづくり

【産業経済部門】

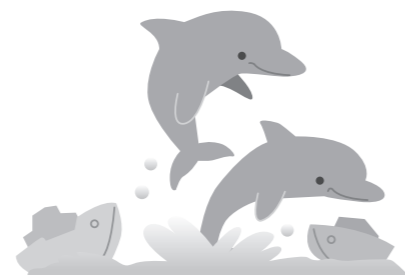


- 第1次産業の担い手に投資** 9,813万円
 農業、林業、水産業の第1次産業の後継者を確保し、担い手として育成する取り組みを支援します。親元での就業者に対しても支援を行います。P24・25に掲載。
- 赤潮等広域監視システム技術の開発** 400万円
 八代海で赤潮を監視するシステムを開発するため多項目水質計を購入し、水質変動を観測します。
- 養殖業に対する支援** 217万円
 養殖経営を圧迫する魚類の病気について長崎大学と共同研究します。また、魚病診断や養殖業者への指導、漂流ゴミの回収を実施します。
- 住宅リフォーム助成事業** 1億101万円
 住宅リフォームを行う場合に、工事費用(税抜き)の2割に相当する額(20万円を限度)を商品券で助成。商品券は、登録店のみで使用できます。
- サテライトオフィスの誘致** 387万円
 都市部に拠点を持つ企業の一部の機能を市に誘致し、新たな雇用を生み出します。現地視察の旅費やオフィスの改修費用を助成します。

2 歴史と文化の薫り高い魅力あふれる観光のまちづくり

【観光・文化部門】

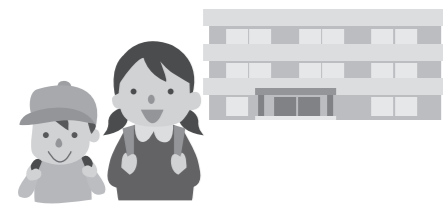
- 「天草の崎津集落」世界遺産登録に向けて** 2,629万円
 平成30年の登録に向け、イベント開催などで周知啓発し、気運を高めます。9月にはイコモスが現地調査を行います。
- 御所浦カーシェアリングで島内観光** 322万円
 島めぐりを気軽に楽しめるように、電気自動車を購入しレンタカーとして活用します。
- 広域観光の取り組みを推進** 3,384万円
 阿蘇や熊本、宇土半島、長崎県島原半島等との連携、天草全域でのVISITあまくさプロジェクトなどで広域的な観光振興、交流人口の拡大を図ります。
- (仮称)イルカセンターを整備** 1億6,984万円
 市の観光の目玉である「イルカウォッチング」の拠点施設を五和の二江漁港内につくります。今年度の実設計を完了し、平成30年度中の完成を目指します。
- 天草ジオパークの充実** 695万円
 上天草市、苓北町と連携してガイドの能力向上やジオサイト解説板の設置などPR活動に取り組みます。



3 人が輝く活力あるまちづくり

【地域振興・教育部門】

- 小・中学生に情報活用能力を** 1億1,150万円
 来年度までに全小・中学校へタブレット端末を導入し、情報社会に対応できる人材を育成します。今年度は、小学校2校と中学校9校を予定。
- 本渡東小学校、有明小学校の建設**
 平成30年4月に開校します。
 本渡東小学校 9億4,168万円
 有明小学校 9億2,652万円
- 移住・定住の促進** 2,260万円
 都市部での移住相談会の開催や、体験ツアーを実施します。定住促進奨励金をUターン者まで拡充します。
- 地域おこし協力隊員を配置** 1,514万円
 地域おこし協力隊員5人を配置し、地域振興の支援や天草産品のブランド化、商品開発、天草陶磁器の情報発信、ネット販売の構築・運営を行います。
- 市民スポーツをサポート** 149万円
 法人化された天草体育協会と連携して、市民のニーズや目的に応じたスポーツ教室などに取り組みます。



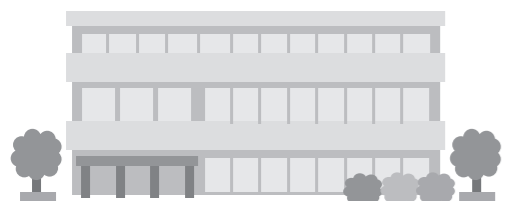
【総務・企画部門】

本庁舎建設の取り組み
10億8,976万円
今年度は、本体工事を開始し、31年4月の開庁を目指します。

本渡中学校跡地に複合施設を整備
9,480万円
本渡中学校跡地(浄南町)に、図書館や保健福祉センター、市民活動の場を合わせた複合施設を整備します。平成32年度の開館を目指して、今年度は具体的な設計などを行います。

遊休財産などの利活用を促進
2,740万円
公共施設等総合管理計画に基づき、老朽化している施設は解体します。また、市で利活用計画のない施設は、地域活性化や雇用拡大を図るため貸付けなどを行います。

7 持続可能な行政運営ができるまちづくり



【都市基盤整備部門】

天草市コミュニティFMを開局
2億5,750万円
行政情報や観光情報の提供と災害時における防災情報の提供を行うため、12月放送開始予定です。



御所浦地域の交通対策
5,488万円
御所浦島につながる定期船利用者の運賃の一部を助成します。



民間建築物の耐震改修を促進
357万円
戸建て木造住宅の耐震診断・設計・改修および緊急輸送道路沿いの建築物の耐震診断に助成などを行います。P27に掲載。

太田町水の平線の整備
1億9,000万円
浄南町から南町までの一方通行解消や安全性確保のための改良に向けた詳細設計や建物などの調査を実施します。

市道の整備・補修
11億4,855万円

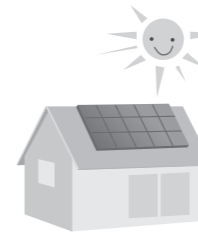
河川・港湾の整備
1億7,540万円



6 暮らしやすい機能的なまちづくり

【生活環境・防犯防災部門】

住宅用太陽光発電システムなどの設置に補助
1,875万円
従来の太陽光発電システム補助に加え蓄電システムの設置にも補助を行い、環境にやさしいまちづくりを進めます。P27に掲載。



危険区域にある住宅除去に助成
1,395万円
がけ崩れ、土石流、雪崩、地すべりなどの危険から住民の安全を確保するため、がけ地近接危険住宅や土砂災害特別警戒区域にある不適格住宅などの移転に対して助成します。

防災行政無線の整備
10億7,906万円
平成29年度から30年度にかけて、全世帯に戸別受信機を整備します。

ごみ・し尿処理
21億6,601万円

消防署の管理・運営
13億966万円

交通安全・防犯対策
1億8,649万円



5 環境と共生した安心・安全なまちづくり

【保健・医療・福祉部門】



健康ポイント事業
2,059万円
健康づくりに取り組んだ人へ、健康ポイントを付与します。貯まったポイントは、市内の登録店舗で使える商品券と交換できます。

妊娠・出産をサポート
1,158万円
不妊治療費の一部助成や早産予防のため妊婦の歯科健診等を実施します。また、新生児の聴覚障がいなどを早期発見するため検査費用を助成します。

ピロリ菌検査を実施
140万円
将来の病気のリスクを知り、健康管理につなげるため、中学3年生の希望者にピロリ菌検査を実施します。

介護職員の資格取得に助成
200万円
介護職員の人材確保のため、研修受講後、市内の介護事業所に就職した人へ、研修に要した費用を助成します。

4 生き生きと暮らせ共に支え合うまちづくり